

横浜訓盲学院だより

創刊号（平成16年7月号）

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181

事務部 TEL 045(641)2626 FAX045(641)2627

普通部 TEL, FAX 045(662)1710

理療科 TEL, FAX 045(662)1833

URL: <http://homepage3.nifty.com/kunmou/>

平成16年6月20日発行

Email: kunmou-fu@nifty.com

Email: kunmou-ri@nifty.com

学院長 はなわ 埜 ただし 忠蔵

バリアフリーの社会に向けて

はなわ ただし
学院長 埜 忠蔵

今、学校は開かれた特色ある学校として大きく変わろうとしています。特に障害を併せ持った児童・生徒が通学している学校は、地域の方々の理解と協力が必要とされています。

地域の方々に理解と協力を頂くためには細かく多くの情報を提供していかなければなりません。情報の提供によって少しでも障害を理解して頂き、共に生きるバリアフリーの社会を目指して行きたいと願っています。

今年度より、「横浜訓盲学院だより」を発行し、学院のようすや視覚に関する情報を提供しながら地域の盲学校としての役割を担っていきたいと思っています。

社会は今、高齢化が進み、私たちの生活

も大きく変化しています。バリアフリーもその対策の一つであり、障害を持った人も、持たない人も共に快適な社会生活が送れるよう工夫が進んでいます。高齢化が進むにつれ老人性白内障、糖尿病性網膜症、網膜色素変性症など視覚に障害を持ち生活に苦勞されている方々が大勢います。このような方々に少しでも生活が改善されるようなアドバイスや支援ができると思います。どうぞ視覚に関するご相談、ご質問をして頂きたいとお願い致します。

これからは地域の方々と協力してバリアフリーの環境や社会を考えていけるような「横浜訓盲学院だより」にしていきたいと思っておりますのでご支援よろしくお願ひ申し上げます。

☆6月の聖句☆

いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。

その中で一番すぐれているのは愛です。

コリント人への第1の手紙13章13節

今月は永遠に残るもののベスト3を覚えましょう。聖書には永遠に残るものが3つあると書いてあります。信仰と希望と愛です。この言葉を聞く前のコリント教会の人々はいつもけんかばかりしていました。このみことばを聞いたコリントの人たちはどのように変わってでしょうか。想像してみてください。

学 院 の 紹 介

本学院は、1889年（明治22年）に発足し、1913年（大正2年）この竹之丸地区に移ってきました。全国でも珍しいキリスト教主義の私立の盲学校です。普通教育を行う普通部（柏葉公園横の校舎）と理療の専門教育を行う理療科（正門横の校舎）があります。

普通部では、幼稚部・小学部・中学部・高等部普通科までの一貫した体制で、生涯を見通した支援計画を作成し、社会の一員として自立していける支援教育に取り組んでいます。

理療科においては、生徒個々の実態に応じた支援を工夫すると共に、補習及び校内模擬試験の充実を図り、あんまマッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験合格に努めています。また私立学校の特性を生かし社会の変化や要求に応じることができる特色ある学校作りに取り組んでいます。

普通部について

今年度は、幼稚部から高等部普通科まで合計31名の児童・生徒が学んでおり、内27名が隣設の社会福祉法人「横浜訓盲院」から通っています。

教育のシステムとしては、無学年制、教師チーム指導体制で指導を行っています。一人ひとりを大切に、それぞれの児童・生徒に必要なと考えられる教科・領域・学習集団作りを行い、教育活動に取り組んでいます。また学習の進み具合に合わせて個別に教育課程を編成し、学習を行っています。



学校開放より 「始まりの歌」

理療科について

盲学校の職業課程で、保健理療科と専攻科の2つのコースがあります。

保健理療科はあんま・マッサージ・指圧師になる勉強を、専攻科はあんま・マッサージ・指圧師とさらにはり師・灸師になる勉強をします。いずれも3年間です。

今年度の生徒数は27名。横浜や川崎からの通学がほとんどです。平均年齢は40才で大人の生徒ばかりです。

最近は弱視の人が大半を占めるようになり、ルーペや拡大読書器などで文字を拡大しながら勉強をしています。

教育相談について

本校では、それぞれのニーズに応じた相談支援を実施しています。

普通部では、視覚障害に限らずさまざまな障害をお持ちのお子さんや保護者の方に対して、日常生活における配慮やかかわり方、学習面などさまざまな相談に応じています。また0歳児からの教育相談では、家庭訪問および通級での指導を行っています。

理療科では、入学相談、見え方や日常生活に関する相談、福祉制度の情報提供を行っています。また、白杖歩行や点字・音声パソコンなどコミュニケーションについての相談支援なども行っています。

運動会

訓盲学院の大運動会が5月29日（土）に晴天に恵まれ開催されました。幼稚部の幼児から専攻科理療科の生徒合わせて58名による、思いやりと勝負を競うゲーム、演技が繰り広げられました。幼稚部の鈴割りは全員が囲んで応援を、理療科の障害物競走では、ふくらました風船をこども達がもらい大喜び。そして、がんばれ、がんばれの声援がとびかいました。

訓盲学院の名物ゲームは「鉄線走」です。ワイヤーを張り、ワイヤーにバトンを通して往復50Mを走るリレーです。全員が楽しみにして、皆の注目を浴び一生懸命走ることができました。皆のがんばる姿、楽しむ姿が心に残る運動会となりました。



ご寄付のお礼

4月～6月にかけて下記の方々よりご寄付をいただきました。ここに報告させていただきますとともに心よりお礼申し上げます。

- (株) テクタイト 様
- 国際福祉協会 (ILBS) 様
- 菱の実特殊教育助成基金 様
- フェリス女学院大学奨学会 様

※この他、運動会にはたくさんのお祝いを頂きました。併せてお礼申し上げます。



視覚障害ミニ知識 『白杖』

視覚障害者が歩く時に使っている「白い杖」を白杖（はくじょう）と言います。これには3つの意味があります。

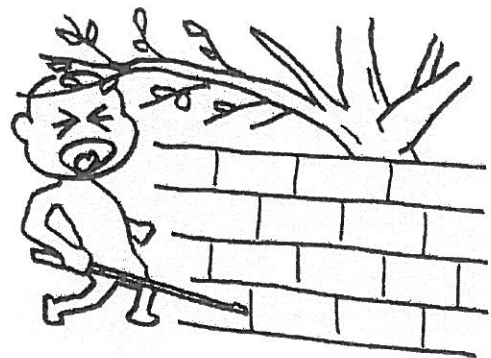
- ① 段差や材質など地面からの情報を得る
- ② 下半身の障害物から身を守る
- ③ 視覚障害者のシンボリックな要素

一般的な『直杖（ちよくじょう）』と携帯に便利な『折りたたみ式』があります。

★庭木や生け垣のお手入れを！★

木々の成長は速いものです。訓盲学院の周辺は緑が多く大変よい環境ですが、その枝葉は視覚障害のある人たちの顔にぶつかり、思わぬケガをする危険なものにもなります。空中に張り出した枝葉は避けようがないからです。

お宅の庭木や生け垣はいかがでしょうか？ 定期的なお手入れをお願いします。



16年度 前期の主な行事予定

- 4月8日(木) 入学式・前期始業式
14日(水) PTA総会
26日(月) 保護者参観日
4月～5月 各グループ春の遠足(普通部)
5月29日(土) 運動会
6月19日(土) 第1回学校開放日
7月17日(土) 第2回学校開放日
7月21日(水)～8月25日(水) 夏休み
9月10日(金) 秋の全体遠足(普通部)
18日(土) 第3回学校開放日
26日(日) 創立記念日
29日(水)～10月1日(金) 中学部修学旅行
30日(木)～10月1日(金) 小学部修学旅行
10月8日(金) 前期終業式
10月12日(火)～10月13日(水) 秋休み(普通部)
14日(木) 後期始業式
16日(土) 第4回学校開放日

17
7月17日は
学校開放日

9:30～ 健康講座第2弾
「肩こり&腰痛」
10:00～ みんなでコンサート
～～ 待ってまーす! ～～

臨床実習のご案内

当学院では授業の一環としてあんま・マッサージ・指圧およびはり灸の臨床(治療)を行っております。是非ご利用下さい。

★あんま・マッサージ・指圧
……水・金曜日

★はり灸 ……火・木曜日

★料金 一律 700円

★ご予約はお電話で!

(当日の朝 8:45～9:10)

電話 090-9009-5882

★お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

理療科ミニコラム

思うツボ

「^{きけつ}気穴三百六十五、もって一歳に応ずる」

古代中国における人体のツボの数は、365穴である。ツボ押しの効果を十分に発揮させるには、ツボを的確に探し、外さないことにある。

本校では今、身体のツボを学び、しっかりと“指圧”する技術の向上と、それ以上に最も大切である“こころの指圧”に取り組んでいる。

この学校だよりは、皆様(読者)の心のツボにどのように届くのだろうか?

「キーン!」と響いてくれば、こちらの「思うツボ」だ!

次回、人体万能ツボ「^{ごうこくけつ}合谷穴」

